

定例調査 ひめしん景況レポートNo.179 (2020年6月期調査)

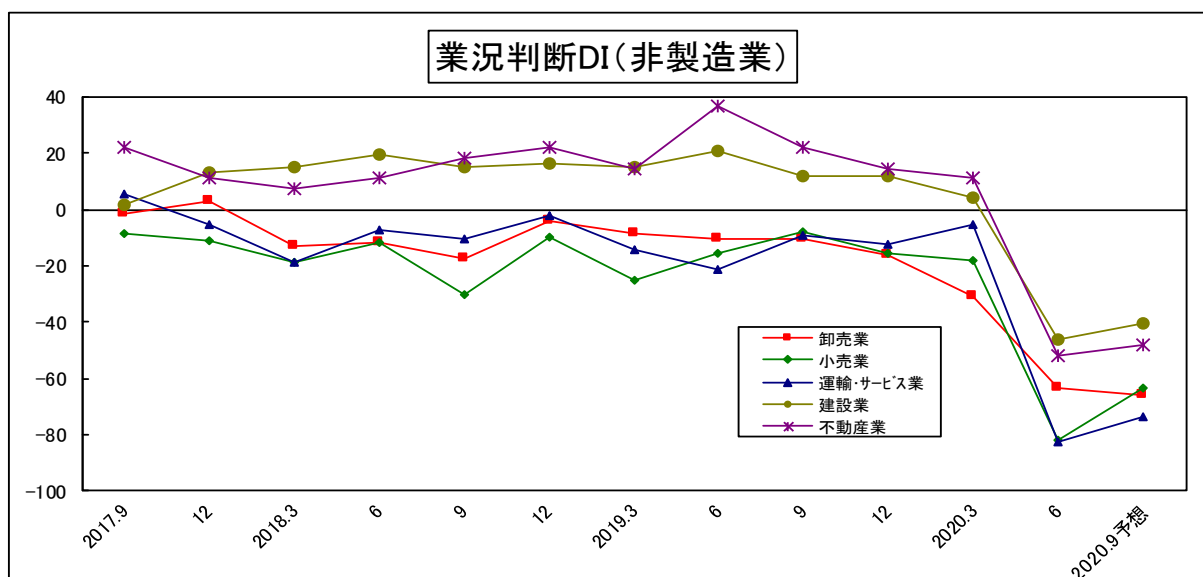
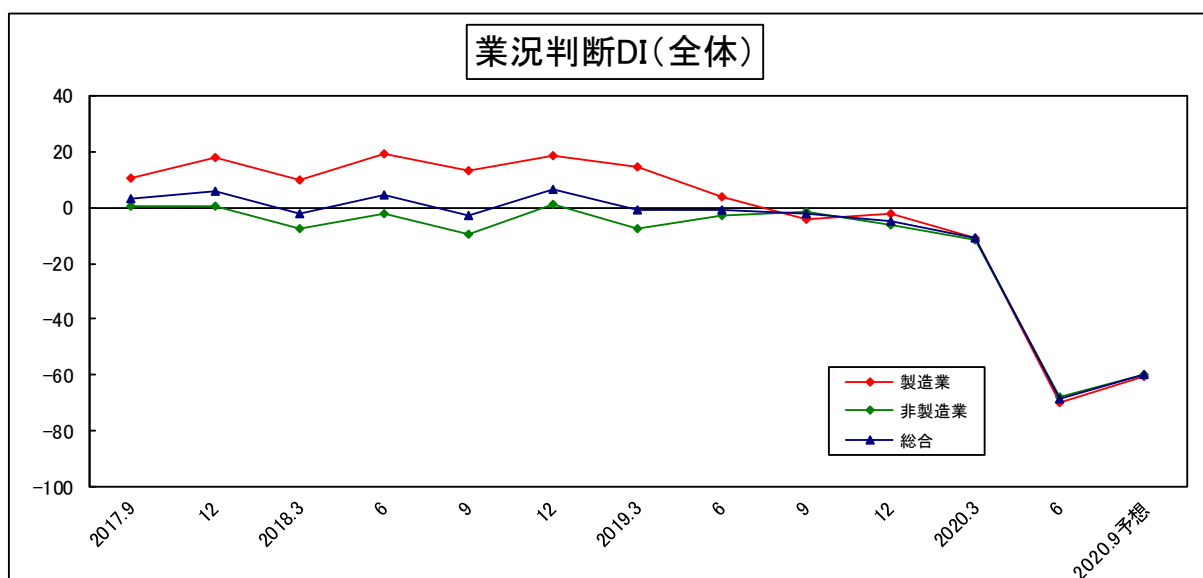
約450社のお客さまを対象に「中小企業景気動向調査」を四半期に1回実施しています。その結果を取りまとめましたのでご覧ください。

○調査時点・内容	2020年6月上旬・2020年4-6月期実績、2020年7-9月期見通し
○調査対象	当金庫の取引先 450社 (有効回答数448社：回収率 99.6%)
○業種別内訳	製造業(136社)、卸売業(68社)、小売業(93社)、運輸・サービス業(57社)、建設業(67社)、不動産業(27社)
○分析方法	DIによる分析方法を採用 DI = 「増加(良い)」の割合 - 「減少(悪い)」の割合

<2020年4-6月期の概況>

■業況判断DIの推移

業種	調査時期	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2019/7-9期	2019/10-12期	2020/1-3期	2020/4-6期	2020/7-9期
総合	(448社)	-3 (↓)	-5 (↓)	-11 (↓)	-68 (↓)	-60 (↑)
製造業	(136社)	-4 (↓)	-2 (↑)	-11 (↓)	-70 (↓)	-60 (↑)
非製造業	(312社)	-2 (↑)	-6 (↓)	-11 (↓)	-68 (↓)	-60 (↑)
卸売業	(68社)	-10 (→)	-16 (↓)	-31 (↓)	-63 (↓)	-66 (↓)
小売業	(93社)	-8 (↑)	-15 (↓)	-18 (↓)	-82 (↓)	-63 (↑)
運輸・サービス業	(57社)	-9 (↑)	-12 (↓)	-5 (↑)	-82 (↓)	-74 (↑)
建設業	(67社)	12 (↓)	12 (→)	5 (↓)	-46 (↓)	-40 (↑)
不動産業	(27社)	22 (↓)	15 (↓)	11 (↓)	-52 (↓)	-48 (↑)



●総合（448社） 播磨地方の景況感は悪化

- （今期実績） 今期（2020年4-6月期）の全業種総合の業況判断D Iは、前期（2020年1-3月期）▲11から57ポイント悪化の▲68となりました。
- （業種別） 製造業は前期比59ポイント悪化の▲70となり2四半期連続で悪化、非製造業は前期比57ポイント悪化の▲68となり3四半期連続で悪化しました。
- （来期予想） 来期（2020年7-9月期）の予想業況判断D Iは、全業種総合で8ポイント改善の▲60、製造業で10ポイント改善の▲60、非製造業で8ポイント改善の▲60となる見通し。

○製造業（136社） 2四半期連続の悪化

- （今期実績） ▲70（前期比－59pt）（来期予想） ▲60（今期比＋10pt）
- （業種別） 20業種中、金属製品、一般機械器具など17業種で悪化、電気機械器具など3業種で横這い。
- （コメント） 受注先の定例行事やイベント等の自粛により、広告などの印刷物の売上減少。（印刷）
メーカーからの自動車部品の生産調整があり、売上減少。工場の週休3日などの調整を行う。
（輸送用機械器具）

○卸売業（68社） 3四半期連続の悪化

- （今期実績） ▲63（前期比－32pt）（来期予想） ▲66（今期比－3pt）
- （業種別） 9業種中、機械器具で改善、農畜産物・水産物、建築材料など7業種で悪化
- （コメント） コロナ禍により、建築資材の入荷の遅延および資材の値上げ要請あり。また、建設業界の動きも鈍化し、売上も停滞。（建築材料）
新型コロナウイルスの影響により一時的に生活用品等の在庫不足が発生し売上減少。
（各種生活用品）

○小売業（93社） 3四半期連続の悪化

- （今期実績） ▲82（前期比－64pt）（来期予想） ▲63（今期比＋19pt）
- （業種別） 12業種中、飲食料品、衣服見回品など全業種で悪化
- （コメント） 商業施設の休業に伴い、施設内の店舗を休業したため、売上減少に直結。また、一部ではネット販売の強化により、売上をカバーした例もある。（衣服身回品）
コロナ禍による個人の外出自粛や企業の営業自粛等によりガソリン利用が減少した。
（ガソリンスタンド）

○運輸・サービス業（57社） 2四半期ぶりの悪化

- （今期実績） ▲82（前期比－77pt）（来期予想） ▲74（今期比＋8pt）
- （業種別） 7業種中、運輸業、自動車整備・駐車場など全業種で悪化
- （コメント） コロナ禍により、法個人顧客ともにキャンセルが相次ぎ売上が減少。（ホテル・旅館）
新型コロナウイルスの影響で、観光客や夜間のタクシー利用者が激減し、前年対比の売上が半減した。
（運輸業：タクシー）

○建設業（67社） 2四半期連続の悪化

- （今期実績） ▲46（前期比－51pt）（来期予想） ▲40（今期比＋6pt）
- （業種別） 3業種中、総合工事、職別工事など全業種で悪化
- （コメント） コロナ禍で海外からの材料入荷が困難となり、住宅工事の進捗が遅れ気味。（総合工事）
個人住宅関連の受注では、新型コロナウイルスの影響で着工を延期する顧客が多い。
（職別工事）

○不動産業（27社） 4四半期連続の悪化

- （今期実績） ▲52（前期比－63pt）（来期予想） ▲48（今期比＋4pt）
- （業種別） 4業種中、建売・土地売買、不動産代理・仲介など全業種で悪化
- （コメント） コロナ禍で、取引案件が中止になるなど、不安材料が出始めた。（建売・土地売買）
時短営業により、取引量が縮小。また、借入者の家賃延滞が増え、支払い猶予の申し出もある。
（代理・仲介）